

施設評価シート（一般）

004

（平成20年度事業）

施設名	備前市男女共同参画交流サロン	問合先	担当課(室)	人権啓発課
所在地	備前市西片上17番地2 備前市市民センター内	職・氏名	副参事 高橋幸子	
		電話	64-1133 64-1823	
建物建設費	市民センターの・千円	財源	国県等補助金	— 千円
		市債・一般財源等	建設年月	平成 — 年 — 月
			耐用年数	— 年

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	備前市男女共同参画交流サロン設置条例	
総合計画上の位置付け	基本目標	05 市民主体の協働のまちづくり	基本施策	02 ふれあい豊かなまちづくり
	施策	02 男女共同参画社会の形成	事務事業名	01 男女共同参画啓発事業

対象	(この施設運営によりサービスを受けるのは誰か?) 男女共同参画社会の実現に向けて活動する市民及び団体			
----	---	--	--	--

目的	(この施設運営によってどのような状態を目指しているのか?) 男女共同参画社会の形成に資する市民の主体的な活動を支援する。(施設の利用促進、基本計画の利用者数を目標値2500人の達成、啓発促進)			
----	---	--	--	--

施設内容	規模	料金体系
利用時間	午前9時から午後9時まで	市民センター内の一室
休館日	毎月月曜日	サロン使用料は無料
国民の祝日の翌日(月曜と重なった場合は火曜日)		
12月29日から翌年1月3日まで		
オープンサロン	毎週水曜日	
使用許可申請	申請書の提出	
	20人程度の会議に利用できる	
	インターネットによる情報収集ができる	

管理運営方法	<input type="radio"/> 指定管理者制度導入 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> すべて直営	(指定管理者名 又は 一部委託の内容)
--------	--	---------------------

類似施設の状況	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし <input type="checkbox"/> 本市所管 <input type="checkbox"/> 近隣市町、民間その他	(施設名及び施設の概要)
---------	--	--------------

経費	項目		平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度実績		単位
	人件費	正規職員	0.3 人	1,915	0.2 人	1,969	0.2 人	2,176	人/千円
	臨時職員							人/千円	
指定管理料								千円	
維持補修費								千円	
物件費								千円	
その他経費			53	68			31	千円	
減価償却費			0	0			0	千円	
合計			1,968	2,037			2,207	千円	
財源	特定財源	使用料						千円	
		その他						千円	
一般財源			1,968	2,037			2,207	千円	
指定管理者の利用料金収入								千円	
年間利用者数			2,229	1,890			1,970	人	
利用者1人当たりコスト(一般財源)			883	1,078			1,120	円	
受益者負担率			0.0%	0.0%			0.0%	%	

稼働実績	平成20年度 (単位:日,人)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	利用日数	17	17	15	11	14	15	19	10	13	15	13	12	171
	ウィズびぜん	151	186	180	103	157	129	180	118	148	204	265	149	1,970
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												

施設の受当性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか?	
	<input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている	判断理由 国も男女共同参画社会基本法制定10周年を向かえ、新たな課題解決を推進しており、市においても男女が対等なまちづくりに向け推進していくために、各種団体の活動の場として支援など更なる推進が必要である。
	<input checked="" type="radio"/> 設置すべきである <input type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由 備前市男女共同参画交流サロン設置条例に男女共同参画社会の形成に資する市民の主体的活動を支援するための施設としており必要である。
	施設を廃止した場合の市民生活への影響は?	
<input checked="" type="radio"/> 影響が大きい <input type="radio"/> 影響はさほどない	判断理由 各種団体の交流の場がなくなると市民との協働のまちづくりの協力が薄れ、今後の推進に向けた協力が希薄する。	

施設の効率性	施設の利用状況は順調か?	
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 順調でない	判断理由 今後新たに登録団体を増やしたいが、施設の使用人数に限界があり、1日、1回の使用人数も限りがあるため、平均的に利用できるような状況ではない。年間2,000人程度使用しているため目標の2,500人が平均使用となればよい。
	受益者負担は適正か?	
	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由 男女共同参画社会の推進のための拠点施設として現状が適正。
類似施設との統合可能性はあるか?		
<input type="radio"/> 統合は可能 <input checked="" type="radio"/> 統合は不可能	判断理由 働く婦人の家が指定管理者等に委託するようであれば検討	
管理運営に係るコストを削減する余地はあるか?		
<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由 週1回のオープンサロン開催における担当職員の人件費が占めている経費が大であるため、利用人数を増やすことで経費削減。平日の有効利用を図ることで経費削減となるため	

平成21年度の状況及び管理運営の改善案	交流サロンの利用状況において前年度よりは上がったものの、平成23年度目標に掲げている目標値2,500人は達成できていない。今年度は各登録団体の交流会を開催し、利用促進、新規団体の登録、オープンサロンの水曜日に企画を行うなど利用者の促進、啓発に努める。
---------------------	---

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成22年度から平成26年度)					
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額(千円)
	カーテンクリーニング	20		パソコン及び周辺機器	250
				カーテン	50
				ビデオ鑑賞用テレビ、DVDプレイヤー	100

判定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由	男女共同参画社会の形成を目指し、法に基づき条例を制定し取り組んでいるが市民意識調査結果にも地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合が伸びておらず、むしろ19年度18.2%が17.6%に落ちている。引き続き活動支援の必要もある。しかし、施設の本体である市民センターが指定管理者制度の導入が可能であれば、付随してより利用できる企画の立案や指定管理者に事業そのものを依頼、
----	--	------	---